



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和8年7月17日発行第28号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



華たちよ 凜と咲け

校 長 武井 正明

指揮者の矢澤薫教諭が構えた指先に演奏者の全神経が集まった瞬間、この緊張感こそが吹奏楽の魔力なのではないか。これまで積み重ねてきた修練が圧縮されて、計り知れないパワーが一気に解き放たれる一発勝負の7分間だ。

ひとつも楽器ができない素人の私は、彼らの演奏力にいつも魅了される。

これが中学生なのか。中学生ってすごいな。そして彼らの奏でる音の強弱や切れ味や、突き上げてくる響きに毎回涙をこらえるので精一杯になる。この直向きさが吉中吹奏楽部の伝統であり魅力だ。聴く者の魂を、これでもかと激しく揺さぶってくる。

今年もまたこの季節が到来した。地区大会の激闘が明けた文月は、吹奏楽の季節。

もう感動したくて堪らなくなっている自分がいる



打楽器の5人は、まるで厨房を目まぐるしく動き回る料理人。次々と入れ替わり立ち代わり楽器を操る。鉄琴が幻想的に音煙を揺らし東洋の風情を醸し出す。一方で木琴の音が綿毛のように和の趣で空中を舞う。風のチャイムがキラキラ舞台袖を流れていく…。

対して鼓動が戦国の合戦を想起させる。静寂を突き破り響き渡り、松明が燃えるようだ。繊細な大小の笛たちも、月夜に奏でる簞箒（ひちりき）の如く、細く長く空間を貫く。様々な管楽器が空間を飛び交い、指揮者を越えていく。チューバの重低音の大波が、太く強く幾重にもうねり、聴衆に押し寄せる…。

まさに和と東洋の融合だ。「凜と咲く華たち」の饗宴は、いよいよ最終局面へ。最後の見せ場で太鼓が館内の時を止める。みんな、着地は決まったか？ よし OK だ!!

吉中で聴く耳は鍛えた。明後日の演奏場面を、私はこんな感じで想像してみた。

今回私は19日、カラーガード関東コンテストの応援に向かう。体が二つほしい。吹奏楽部の皆には、灼熱の彩の国熊谷から熱い念を送ろう。思いはひとつ。絶対に届く。

これまでの総てを楽器に込め、新潟テルサで思いっきり、暴れてきてほしい。

8月1日はもちろん空けてある。もっとすごいやつを聴かせてもらうつもりだ。



6/13(土)女バレ地区大会(三條)



6/13(土)男バス地区大会(燕)



6/17(水)野球地区大会(悠久山球場)



6/17(水)卓球地区大会(長岡)



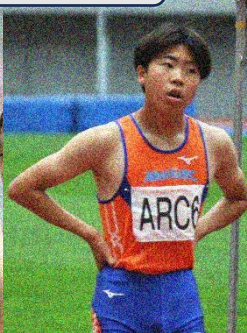
6/18(木)科学部 力作を前に!!



6/19(金) 剣道地区大会(湯沢カルチャーセンター)



6/26(金)~27(土) 通信陸上大会(ビッグスワン)



7/1(水) 第1テスト終了後、ドキドキの軍団抽選会



令和8年度7月後半~8月中旬の主な行事

- 13(月) 3年体育祭リーダー活動日(~17日)
- 19(日) 吹奏楽部地区コンクール(新潟テルサ)
カラーガード関東コンテスト(埼玉)
- 21(火) 夏季保護者会・2年職場体験(~23日)
- 27(月) 1学期終業式
- 31(金) 北信越大会(~8/8)
- 8/5(水)わたしの主張(三條大会)
- 17(月) 全中(~25日)



7/8(水) 上級学校訪問(経営大・薬科大ほか)

